

# 令和3年1月－3月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（1月－3月期）

新型コロナの影響から厳しい状況にあり、持ち直しの動きが一服している。住宅投資、個人投資は横ばいで推移、個人消費は首都圏を対象とした緊急事態宣言の影響などから持ち直しの動きが一服している。雇用・所得情勢はコロナの影響から弱い動きとなっている。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	5	8	10	16	39

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	1	2	3	6
1～4人	3	6	8	11	28
5～10人	1	0	0	2	3
11～20人	1	1	0	0	2

## 過去3ヵ月（R2年7月～9月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	1	0	1	0	2
2 横ばい	3	3	3	7	16
3 減少	1	5	6	9	21

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 横ばい	3	5	2	7	17
3 減少	2	3	8	8	21

➡ 50%以上の事業所が売上減少だとし、今後も横ばいもしくは減少が続くとした。

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	2	5	5	15
2 横ばい	2	4	4	8	18
3 減少	0	2	1	3	6

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	2	3	6	14
2 横ばい	2	4	6	7	19
3 減少	0	2	1	3	6

➡ 半数ほどが横ばいとし、今後も横ばい傾向が続くとしている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	1	1	3
2 横ばい	3	3	2	5	13
3 減少	2	4	7	10	23

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 横ばい	3	3	3	5	14
3 減少	2	5	7	10	24

➡ 減少が50%以上を占めており、今後の見通しも減少としている。

Q7 資金繰りにについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	1	0	1
2 横ばい	4	6	5	8	23
3 悪化	1	2	4	8	15

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	4	5	5	8	22
3 悪化	1	3	5	8	17

➡ 50%以上が横ばいとし、今後も同等に推移していくと見通している。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	1	2	1	1	5
2 投資しなかった	4	6	9	15	34



80%以上が設備投資しなかったと回答し、今後もする予定はないとした。

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	2	2	1	1	6
2 投資しない	3	6	9	15	33

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	1	0	0	0	1
2 変わらない	2	6	9	13	30
3 減少	2	2	1	3	8



横ばいで推移しており、今後も横ばいで推移するとしている。

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	0	0	1
2 横ばい	2	6	9	13	30
3 減少	3	1	1	3	8

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	0	1	1	2
2 変わらない	3	3	4	4	14
3 悪くなっている	2	5	5	11	23



50%以上が前期より「悪い」としており、今後も悪化すると見ている。

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	0	0	0
2 変わらない	3	2	5	6	16
3 悪くなる	2	6	5	10	23

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	2	7	5	6	20
2 販売価格の低下	1	0	3	3	7
3 原材料の高騰	4	3	3	6	16
4 人件費の増加	2	0	1	0	3
5 取引条件の悪化	1	0	0	2	3
6 同業者との競争激化	1	0	2	3	6
7 人材確保難	0	2	3	2	7
8 経営者の高齢化	2	1	2	8	13
9 後継者難	1	1	0	4	6
10 その他	0	0	1	1	2



「需要の低迷」「原材料の高騰」を課題とする事業所が多くみられる。次いで「経営者の高齢化」が目立っている。また経営課題ではないが、コロナ感染症による影響が引き続き見られ、「全体的な景気の停滞を肌で感じる」という意見もあり、今後の資金繰りを懸念する事業所もあった。

板柳町の景気動向（1月～3月期）

わが町の景気は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により大幅に下押しされ、前期と変わらず厳しい状況になっている。年始～3月にかけてのイベントや宴会の中止等により、製造業やサービス業（飲食業）では個人消費が戻らず、特に夜間営業の店舗では閑散とし長引くこの状況に不安の声が聞かれる。一方建設業は少しずつ受注が増えてきているものの、依然先の見えない状況に不安感が残る。これから始まるワクチン接種への期待感はあるものの、経営が危機的状況であるのは変わりなく、今後のコロナ支援策の継続を望む声が多い。